

動画でも
確認できます

非常時や停電に備えて乾電池を準備しておきましょう。



防災行政無線 周波数の合わせ方



問 総務課消防防災係 ☎476-1111 (212・213)

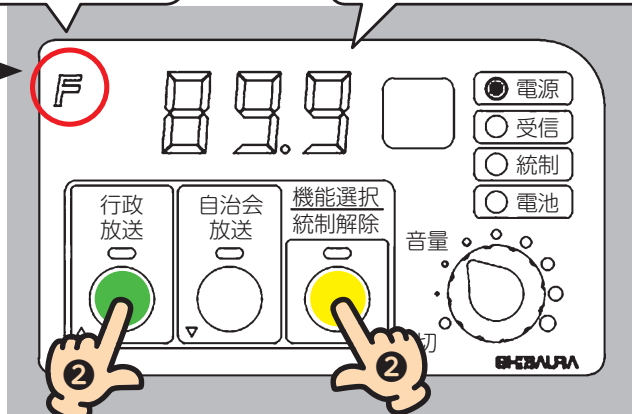
「F」が表示されている状態で

FMおおさきは周波数「89.9」

手順①

デジタル表示部に「F」が表示されている事を確認します。

※表示部は「機能選択」ボタンを押すことで切り替えられます。



前面パネル

約1秒間長押ししてから離す + 押したまま

手順②

1. 「機能選択」ボタン(右)を押しながら
2. 左または真ん中のボタンを約1秒間長押しし、同時に離す
3. 自動選局を開始し受信可能な周波数で止まります。
4. 1～3の動作を繰り返すことで、周波数を切り替えることが可能です。

※受信可能な周波数が見つからなかった場合、自動選局は止まりません。
※建物によっては、電波が届かない場合もあります。

切だと思っています。企業の皆さまに提供をいただき、山口大学名誉教授三浦房紀先生の防災情報を毎日14時台に紹介しています。梅雨前、台風時期、熱中症対策なども適宜お伝えしています。津波で被害を受けた岩手県釜石市の子どもたちの言葉に「100回逃げて100回来なくても1001回目も必ず逃げて！」とあります。災害が発生し最悪な事態が起きても、行政から情報がなかったからと嘆いても失った人は帰ってきません。災害が発生したとき、まずはひとりひとりが自分の身をまもれること、行動に移せることが大事だと思います。そのことをお伝えし続けたいです。

水 昨年9月に台風が接近した際、どのような情報をお伝えしましたか。

水 台風接近中は、台風の備えや避難場所開設の状況、道路状況、過ごし方などを9時から19時までスタッフ数名で交代して放送しました。局のInstagram(インスタグラム)でも、備えについてや避難の促しなどを投稿し、スタジオ前の様子を動画で配信しました。台風経過後には、コンビニエンスストアやコインランドリー、ガソリンスタンドなどの開店情報をお伝えしました。リスナーから、停電や倒木の情報などが寄せられ、とても助かりました。

災害情報を発信する中で見えた課題はありますか。

水 台風の中、スタッフがさまざまな場所に連絡し情報を集めました。ただ、正確な情報を知るためには時間を要しました。行政や消防などの連携は必須だと感じています。被災中はどういった些細な情報でも安心できると思います。連携のルートを構築し、少しでも町民の皆さまが安心して過ごせるように心がけていきたいと思っています。



台風時のスタジオの様子

▲ 飛来物が飛んでこないように車を止め、窓はテープで養生

2年目を迎えたFMおおさき。「大きな局ではできない大崎町の細かい情報・旬な情報をお伝えすることが役目だと思っています。町民の皆さまが気軽に立ち寄って情報交換できる局にしていきたい」と水流さんは話されました。